

府内主要業界の景気動向について (平成20年1月～3月)

～足下に大きな減速はないが、先行き不透明感が増している～

当センターでは、このほど平成20年1月～3月における府内主要業界景気動向の調査結果を取りまとめました。調査時点は3月末で、主要業界について業界団体及び複数の企業ヒアリング結果を要約したものです。

※詳細は、http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/inv/eco/08_01-03に掲載しています。

概況	アメリカ経済の不調から先行きに不透明感が出ていますが、現状の受注、売上状況は大きく減速していません。しかし、原材料費上昇に加え、為替の円高、ドル安進行により、採算面では中小だけでなく大手でも厳しい状況が生まれています。京都観光は冬場の閑散期対策が成果を挙げっていますが、北部は団体客が落ち込んでいます。小売は、百貨店や観光客の多いショッピング街は好調に推移していますが、スーパー、地場商店街の日用品販売は低調です。印刷業界は需要が伸びず、原材料費上昇から採算面では厳しい状況です。情報サービス業は、受注が上向く気配です。建設は、民間建築の落ち込みが続いています。		
飲食料品	惣菜	惣菜業界は、「調理食品」は食卓に不可欠で前年並みに堅調ですが、燃料・原材料費高騰と材料の国産シフトで収益性は低下しています。	
	京菓子	京菓子は、相次ぐ食の安心・安全を揺るがす不祥事の影響などから、マイナスに転じています。	
繊維染色	和装品	丹後ちりめんの1～3月生産量は、前年同期比1.4%増加となりました。西陣帯地の1～2月出荷額は前年同期比24.8%減少です。小幅友禅染色は、振袖の一部が動きましたが、全体としては2割以上の減産で厳しい状況です。	
	洋装品	西陣ネクタイはクールビズ定着で春・夏物の落ち込みが大きく、1～2月は前年比27.8%減少です。機械染色では、燃料、染料等の価格上昇に加え、円高から企業の採算性は一段と悪化しており、業界大手が廃業することになりました。	
仏壇・仏具			安価な国内他産地や中国産との競合による厳しい状況に加え、景気の先行き不透明感から購入が先送りされる傾向が出ています。
印刷			商業印刷、軽印刷とも需要は伸び悩み傾向です。印刷用紙、その他の原材料価格の上昇を、受注価格に転嫁出来ていない状況です。
電子部品			世界の電子機器生産の伸び率が鈍化しており、電子部品の需要増加に今までの勢いが見られません。需要は長期的には安定的に推移していますが、世界的な景気減速への懸念や原材料価格の高騰、為替の円高傾向などにより短期的には減速感や不透明感が出ています。
機械金属	銑鉄鋳物	銑鉄鋳物の受注量は前年比で大幅に増加しましたが、銑鉄や副資材の価格高騰分は販売価格に転嫁できてません。	
	金型 一般機械・産業用機械	デジタル家電、電子部品関連の金型は、大口顧客の設備投資抑制により受注は昨年同期比大幅減少です。半導体製造関連装置は、投資時期を翌期以降へシフトするケースが目立ちはじめました。FPD製造装置は、韓国や台湾メーカーの投資が回復して受注は急速に上向いていますが、売上に反映するのは来期以降です。制御機器関係と電力機器関連は、全体としては堅調に推移しています。不織布など産業用繊維素材向け機械の受注は引き続き好調ですが、新規引き合いは減少傾向です。	
	輸送用機械 精密機械	輸送用機械は、日本市場での新型車投入効果は薄れてきたものの輸出向けが依然として好調です。精密機械では、自動車産業向けの計測機器、地球環境対策用の環境計測機器、医療計測機器などの売上は高水準を維持しています。	
小売	百貨店	京都市内百貨店の総売上高は、1月が15か月ぶりに前年比1.2%減少しましたが、2月は3.6%増加に回復しました。身の回り品、食料品が好調でした。	
	スーパー 商業施設・商店街	京都府内スーパーの1月総販売額は、前年比1.4%増加となりました。商品別では、衣料品、身の回り品、飲食料品、家庭用品等で前年を上回っています。京都駅近辺の商業施設では売上高・客数ともに好調で、1月、2月は前年を数パーセント上回りました。河原町周辺の商店街も引き続き好調です。	
観光			市内主要ホテル客室稼働率は、客室改装及び寒気の影響により前年を下回ったものの冬場の閑散期対策が成果を挙げ、1月は67.6%、2月は76.2%と高水準を維持しました。
情報サービス			商談数はやや増加していますが、受注、営業利益率は競争激化等により横ばいです。今後の受注は、やや増加と見る企業が多いです。
建設			公共工事請負高は、京都市内が大幅に増加したことにより府全体として前年同期比11.3%増加となっています。1月新設住宅着工戸数は前年同月比42.5%の減少で、依然として確認審査手続きが円滑に進んでいない状況です。

景気動向については、四半期ごとに掲載していましたが、本号で終了いたします。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
 企画連携課

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497
 E-mail:design@mtc.pref.kyoto.lg.jp